**第４章　化学物質管理目標決定及び達成状況の届出について**

【届出対象者】

第一種管理化学物質の排出量・移動量・取扱量の届出対象者のうち、常時使用される従業員数が50人以上の事業所を府内に持つ事業者

**（１）化学物質管理目標決定及び達成状況の届出書の作成方法**

　この届出は、対象とする化学物質を定めて、排出量の削減などの自主的な目標を策定し、化学物質による環境リスクの低減を進める内容を届け出るものです。

　初年度は有害性が高い、あるいは取扱量が多いなど環境リスクが高い管理化学物質を選定して管理目標を定め、その目標を達成するための具体的な方策に関する計画を作成します。次年度以降は、目標の達成状況及び目標を達成するために実施した対策の内容を届出してください。

**１）届出先について**

大阪府知事又は権限移譲した市町村の長に提出してください。（記入例p4-6参照）

**２）届出様式について**

以下のホームページからダウンロードできます。

https://www.pref.osaka.lg.jp/kankyohozen/shidou/kanri.html

**○注意事項**

**１　初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者の方へ**

化学物質管理目標や目標を達成するための具体的な方策等を届出してください。

⇒　p4-6～p4-8の書類を提出してください。

　（p4-7の点線で囲まれた部分は記載不要です。ただし、既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は、p4-7の点線で囲まれた部分も記載してください。）

**２　既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者の方へ**

化学物質管理目標を達成するための対策の進捗状況や達成状況等を届出してください。ただし、目標達成年度における達成状況等を届出する年度には、達成状況等の届出に加えて新たな目標を策定して届出してください。

⇒　前年度に提出した書類に追記し、p4-9～p4-11の書類を提出してください。

（なお、書面届出において、計画の内容を変更していない場合はp4-11の別紙の届出　は不要です。）

　既に管理目標の届出をしている事業所で、今回の届出が目標達成の最終年度（目標年度）の達成状況を届出される事業者は、次の目標を決定し、併せて届出してください。

（例）目標年度：2023年度　　届出年度：2024年度　　の場合

　　　①2023年度の目標達成状況の届出

　　　②2024年度を計画初年度とする管理目標決定の届出

**→**

**目標達成の最終年度（目標（達成）年度）の達成状況を届出される事業者様へ**

**2種類の届出が必要です**

**３）化学物質管理目標決定及び達成状況の届出の記載事項の説明**

**説明１　管理化学物質の種類**

貴事業所で取り扱っている管理化学物質について、次の（１）～（３）の結果等をもとに、管理の改善を進めて環境リスクの低減を図るべき管理化学物質を選定して記入してください。

（１）リスク評価※1

（２）事業者独自の判断基準による選定

（３）技術面、費用面を含めた各種削減対策の比較検討

※１ 指針第4の2(1)（指針の解説を含む）に示す貴事業所で扱う管理化学物質の有害性に係る情報、ばく露性に係る情報をもとに、指針第4の2(2)（指針の解説を含む）に示すような管理化学物質のリスク評価を行ってください。

複数の物質について届出する場合は、物質ごとに届出書を分けて提出してください。

なお、VOC（揮発性有機化合物）（府条例施行規則第50条の5）の年間取扱量が１トン以上の場合は、VOC又はVOCに該当する個別の物質（例えば、トルエン等）を優先的に選定してください。

**説明２　管理の改善の方法**

「管理化学物質の種類」の欄に記入した管理化学物質に対して、どういった方法で管理の改善を進めるか、該当する欄に｢○｣を入力してください。

従前から化学物質の適正管理を積極的に実施されており、これ以上の改善が現時点では難しい場合は、以下の例に示すような方法で行ってください。

（例）　・排出原単位（例、「化学物質Aの大気への排出量÷製品の製造量」、あるいは｢化学物質Aの大気への排出量÷化学物質Aの取扱量」という比率）を減らす。

・地域住民とのリスクコミュニケーションを推進し、住民に貴事業所での化学物質管理について理解してもらう。

・マネジメントシステムの改善により、化学物質の取扱時における無理、ムラ、無駄の一層の排除を行う。

・現状維持。（ただし、現状維持の状況になるまでの今までの改善の過程、どのようにして現状維持を担保していくかの説明が必要です。）

「管理の改善の方法」を排出量の削減とした場合には、「指標とする項目」「指標とする項目に係る目標」についても排出量（大気、公共用水域、土壌、埋立）に関連する項目から選択し、項目間の内容について整合がとれるようにしてください。

**説明３　指標とする項目、指標とする項目に係る目標、改善率**

「指標とする項目」については、「管理の改善の方法」を進めていく段階で、その改善の程度を把握・検証等するための指標となるものを選んでください。

　　「指標とする項目」の例をp4-5に示しています。

｢指標とする項目に係る目標｣については、当該化学物質の管理の改善計画で達成しようとする目標値を記入してください。

(目標の例)・VOCの大気への年間排出量を基準年度から、○○○ｋｇ/年削減する

　　　　　　・製品製造量あたりのVOCの大気への排出量を基準年度から○○%削減する。

　　　　　　・設備の安全化を施す箇所を全○箇所設定し改善する。

　・環境報告書の発行回数を３年に１回から毎年とする。

「改善率」については、「管理の改善の方法」として排出量・移動量・取扱量の削減を選定している場合に、基準年度に対する目標達成年度における改善率を記入してください。数値化しにくい指標とする項目の場合は、改善率の記入は不要です。

**説明４　目標達成年度**

本届出は、化学物質の環境リスクを低減する取組みを進めることを目的として、事業所ごとに化学物質の管理の改善計画・目標を立て、毎年その進捗状況について届出を行うものです。

目標を達成するために取組む期間（１サイクル）は、概ね５年程度の期間を想定しています。届出の開始時期が事業所で異なるため、以下のような期間を設定してください。（2024年度に初回の届出を行う場合、可能であれば2023年度を基準年度とし、目標達成年度を2028年度としてください。）

なお、本届出は各事業者で自主的に環境リスクの低減を進めていただくことを基本としていますので、工場の建替えや拡充計画等の長期計画をお持ちの場合や、既にPDCAサイクルを実行している場合などは、目標達成年度が上記以外になることを妨げるものではありません。

また、目標を達成するため、PDCAを繰り返して行い、目標の達成が危ぶまれる場合は、必要に応じて追加対策を実施するなどして、目標の達成に努めてください。

初回の届出が2024年度の場合の目標年度設定例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2023 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 |
| 排出量等基準年度 | 計画初年度 |  | 中間目標年度 |  | 目標達成年度 |

**説明５　目標決定に当たっての考え方**

説明１の(1)～(3)の結果等をもとに、最終的な目標決定をした際の考え方を記入してください。記入欄が足りない場合は別添にして記入してください。（様式は自由です）

**説明６　化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容、化学物質管理目標の達成状況、化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果**

　　　これらの欄は毎年度内容が変わりますので新たな記述が必要です。

　　　届出前年度の進捗状況に基づいて記入してください。

「化学物質管理目標の達成状況」は経過がわかるよう、届出前年度の指標とする項目の実績値（削減量等）と改善率を、前回届出内容に追記する形で記入してください。

(例)

・2023年度（基準年度）実績でVOCの大気への排出量は10,000kg。

・2024年度実績でVOCの大気への排出量は9,400kg。基準年度から600kg削減、改善率6%。

　　「化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果」は、前年度の取組について自ら検証した結果を記入してください。検証にあたっては、事業所で作成した化学物質管理計画書であらかじめ定められた体制と手順にしたがって実施してください。なお、第三者評価を行った場合にあっては、その結果も加味してください。

(例)

・○○年度の目標達成に向け順調に進んでいる。

・目標を順調に達成できた。

・○○年度の目標達成に向け概ね順調に進んでいるが、一部に○○といった課題が残されている。

・○〇年度の目標達成に困難な課題（○○）があり、今後具体的方策の検討を予定している。

・目標達成に向けての取組みを行ったことで、使用していない溶剤のフタが閉まっていることを作業員が確認する等、意識の向上が見られた。

・生産量の増加に伴い、使用量が増加したが、生産量１トンあたりの使用量は減少しており、作業効率は改善している。

・塗料を調製する際、必要量だけ作成し、余剰分が少なくなるようにした。

**説明７　化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画（別紙）**

　　　この別紙は計画策定時に作成するものですので、２年目以降の実績報告時には計画の内容に変更がない限りは、変更しないでください。なお、計画を変更する場合は、表書きの「化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項」に変更の内容とその理由を記載してください。

　　　別紙の「具体的方策」には、当該年度にて実施する予定の対策等を具体的に記載してください。「指標とする項目」には表書きで設定した「指標とする項目」について、基準年度の値（実績値）及び予定する対策等を実施した際の計画初年度、中間目標年度及び目標年度の計画値を記載してください。

＜参考＞　指標とする項目の例

|  |
| --- |
| 1:上記管理化学物質の大気への排出量の削減量 |
| 2:上記管理化学物質の公共用水域への排出量の削減量 |
| 3:上記管理化学物質の当該事業所の土壌への排出量の削減量 |
| 4:上記管理化学物質の当該事業所における埋立処分量の削減量 |
| 5:上記管理化学物質の下水道への移動量の削減量 |
| 6:上記管理化学物質の廃棄物としての移動量の削減量 |
| 7:上記管理化学物質の製造量の削減量 |
| 8:上記管理化学物質の使用量の削減量 |
| 9:上記管理化学物質の単位使用量当たりの大気への排出量の削減量 |
| 10:上記管理化学物質の単位使用量当たりの公共用水域への排出量の削減量 |
| 11:上記管理化学物質の単位使用量当たりの当該事業所の土壌への排出量の削減量 |
| 12:上記管理化学物質の単位使用量当たりの当該事業所における埋立処分量の削減量 |
| 13:上記管理化学物質の単位使用量当たりの下水道への移動量の削減量 |
| 14:上記管理化学物質の単位使用量当たりの廃棄物としての移動量の削減量 |
| 15:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の使用量（原単位）の削減量 |
| 16:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の大気への排出量（原単位）の削減量 |
| 17:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の公共用水域への排出量（原単位）の削減量 |
| 18:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の土壌への排出量（原単位）の削減量 |
| 19:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の埋立処分量（原単位）の削減量 |
| 20:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の下水道への移動量（原単位）の削減量 |
| 21:製品の単位生産量当たりの上記管理化学物質の廃棄物としての移動量（原単位）の削減量 |
| 22:上記管理化学物質の有害性の低い代替物質への転換率 |
| 23:設備の安全化対策の実施箇所 |
| 24:その他（項目を記入下さい。） |

**（２）化学物質管理目標決定及び達成状況の届出書の記入例**

①初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者



届出時点における住所、法人名、代表者の役職・氏名を各記入欄に記入

**※押印不要**

届出先の行政の長を記入

1. 事業所が所在する市町村の長

大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、太子町、

河南町、千早赤阪村の事業所

②泉大津市長

　泉大津市、忠岡町※の事業所

　（※化管法の届出先は忠岡町長）

③大阪府知事

上記以外の市町の事業所

代理人が届出を行う場合は、代表者名と代理人名を併記

届出日における事業所の名称、所在地を記入

取り扱っている管理化学物質の中から

環境リスクを考慮して物質を選定

※詳細は説明１（p4-2）参照

該当する欄に「○」を記入

※詳細は説明２（p4-2）参照

p4-5記載の項目から選択

※選択項目に該当するものがない場合は、

24:その他とし、その内容を４段目に記入

実線での囲みの部分を計画初年度（目標決定時）に記入

削減量が定量化できる場合には、

基準年度からの削減量（削減割合）を記入

※詳細は説明３（p4-3）参照

単位を記入

※詳細は説明５（p4-4）参照



点線での囲みの部分は目標として決定した事項の達成状況を記入

※**計画初年度は記入不要。**既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能

化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容を記入(別紙の計画に記載した具体的方策など)

※届出前年度の実績を前回届出内容に追記する形で記入

※計画初年度は記入不要。既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能

p5-1参照

当する欄に「○」を記入

届出前年度末の達成状況を前回届出内容に追記する形で記入

※詳細は説明６（p4-4）参照

※計画初年度は記入不要。既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能

進捗状況に対する検証（見解）を記入

※詳細は説明６（p4-4）参照

※計画初年度は記入不要。既に事業所で独自目標を策定しており、目標に沿って対策を実施している場合は記入可能

変更の内容とその理由を記入

※変更した場合は、別紙の「具体的方策」にも変更した事項を記載

該当する欄に「○」を記入

○別紙の記入例　（初めて目標決定及び達成状況届出書を提出する事業者）

具体的方策は事業所の実態を踏まえ、最も費用対効果の高い対策の組み合わせを決定して記入してください。（以下、記載例）

○有害性の低い物質へ代替するための技術開発、設備の整備　○工程改善、設備改善等の使用の合理化による取扱量の削減

○処理装置、回収装置の設置や改善による排出抑制　○作業要領の遵守徹底、維持管理の適正化等の対策による、取扱量の削減及び排出抑制

○モニタリングによる監視（排ガス、排水、敷地境界濃度等）の強化　○リスクコミュニケーションの実施（住民説明会の実施）

○その他の改善対策（具体的に記入）

第5章(3)参照

○

第5章(3)も参照ください。

4-5

4-8



計画の中間目標年度を記入

**原則記入不要**だが、「届出の前年度」は基準年度が計画初年度よりも数年前であり、計画の進捗を把握するために、最新の実績値を記入することが望ましい場合には、記入してください。

計画の目標年度を記入

おおむね５年程度の計画としてください。

計画策定時における2024年度（目標年度）の計画値を記入

計画の基準年度における「指標とする項目」の実績値を記入

計画の「指標とする項目」（この届出書の表書きに記入したもの）を記入

計画策定時における、2020年度（届出初年度）の計画値を記入

計画策定時における2022年度（中間目標年度）の計画値を記入

計画の基準年度を記入

※選定した物質を、既に削減対象として計画的に管理してきた場合、その計画の初年度を基準年度としても構いません。

計画を初めて提出する年度を記入

②既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者



届出時点における住所、法人名、代表者の役職・氏名を各記入欄に記入

**※押印不要**

該当する欄に「○」を記入

※詳細は説明２（p4-2）参照

単位を記入

削減量が定量化できる場合には、

基準年度からの削減量（削減割合）を記入

※詳細は説明３（p4-3）参照

p4-5記載の項目から選択

※選択項目に該当するものがない場合は、

24その他とし、その内容を４段目に記入

取り扱っている管理化学物質の中から

環境リスクを考慮して物質を選定

※詳細は説明１（p4-2）参照

届出日における事業所の名称、所在地を記入

代理人が届出を行う場合は、代表者名と代理人名を併記

届出先の行政の長を記入

①事業所が所在する市町村の長

大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、高槻市、貝塚市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、松原市、箕面市、東大阪市、大阪狭山市、阪南市、豊能町、能勢町、太子町、河南町、

千早赤阪村の事業所

②泉大津市長：泉大津市、忠岡町の事業所

③大阪府知事：上記以外の市町の事業所

実線での囲みの部分を計画初年度（目標決定時）に記入

4-9



化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容を記入(別紙の計画に記載した具体的方策など)

目標を達成するために取り組む期間（１サイクル間）にあっては、届出前年度の実績を前回届出内容に追記する形で記入

4-10

p5-1参照

当する欄に「○」を記入

該当する欄に「○」を記入

上欄の目標達成のために実施した対策の検証の結果に基づき、具体的方策（別紙）に内容を変更した場合は、変更した事項を記載

4-10

点線での囲みの部分は目標として決定した事項の達成状況を記入

１サイクル間にあっては、届出前年度末の達成状況を前回届出内容に追記する形で記入

※詳細は説明６（p4-4）参照

進捗状況に対する検証（見解）を記入

※詳細は説明６（p4-4）参照

※計画の内容を変更していない場合、別紙は初回届出時のまま、特に追記等は不要です。

計画を初めて提出する年度を記入

計画の中間目標年度を記入

計画の目標年度を記入

具体的方策は事業所の実態を踏まえ、最も費用対効果の高い対策の組み合わせを決定して記入してください。（以下、記載例）

○有害性の低い物質へ代替するための技術開発、設備の整備　○工程改善、設備改善等の使用の合理化による取扱量の削減

○処理装置、回収装置の設置や改善による排出抑制　○作業要領の遵守徹底、維持管理の適正化等の対策による、取扱量の削減及び排出抑制

○モニタリングによる監視（排ガス、排水、敷地境界濃度等）の強化　○リスクコミュニケーションの実施（住民説明会の実施）

○その他の改善対策（具体的に記入）

○別紙の記入例　（既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者）



計画の基準年度を記入

※選定した物質を、既に削減対象として計画的に管理してきた場合、その計画の初年度を基準年度としても構いません。

4-11

第5章(3)参照

○

第5章(3)も参照ください。